

肝胆道神経内分泌腫瘍例の後方視的検討

1. 研究の対象

1980年1月1日以降に国立がん研究センター中央病院において、肝臓原発および胆道原発の神経内分泌腫瘍と診断された方々の診療録を対象とし、胆道原発神経内分泌腫瘍の病態を解明するために情報収集を試みます。

2. 研究目的・方法

肝臓原発および胆道原発の神経内分泌腫瘍は希少な疾患であり、この疾患の日本における疫学データはなく、確立された治療法也没有。根治切除が可能な場合には手術が行われますが、根治切除が不可能な場合においても、症状の緩和が期待される場合には腫瘍量を減らす手術が行われることがあります。手術が困難な場合または再発した場合には、一般的には薬物療法が行われますが、確立された治療法が確立していないため、膵臓や消化管などの他の部位の神経内分泌腫瘍に準じて薬剤療法が行われることが多いです。

肝臓原発および胆道原発の神経内分泌腫瘍に関する論文報告は、いずれも少数の患者さんについてまとめた報告であり、その多くは海外からの報告です。1980年以降に、当施設では20人以上の胆道神経内分泌腫瘍の患者さんを診療しており、この方々の診療情報をまとめることで、日本における肝臓原発および胆道原発の神経内分泌腫瘍の詳細な病態を明らかにすることにつながると考えます。

1980年1月1日以降に当院で胆道原発神経内分泌腫瘍と診断された患者さんの診療録より、手術および薬物療法の治療内容についての必要な情報を収集します。情報収集の作業に当たる人員は医師をはじめとする医療知識のある研究者です。この作業で収集した情報を通じて、胆道原発神経内分泌腫瘍の病態を明らかにしていきます。研究期間は2年です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ番号、年齢、病歴、手術の有無、化学療法の治療歴、生検や手術で摘出した組織 等

4. 試料・情報の公表

学会、論文等で研究結果を公表します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科 小宮山 哲史、森実 千種

TEL:03-3542-2511

研究責任者：

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科 奥坂 拓志